

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

1. 現状分析

	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期
ROE (%)	5.8	5.0	6.3	9.4	10.0
1株当たり配当金 (円)	240	240	240	440	500
自己資本比率 (%)	90.00	89.30	88.00	86.60	87.20
PBR (倍)	1.35	1.33	1.38	1.91	1.74

当社は、2022年5月6日開示の「資本政策に関するお知らせ」にて、中期経営計画の目標の1つである「2025年度までに営業利益率25%を目指す」とことと併せて、「2025年度までに自己資本利益率（ROE）10%超の実現を目指す」としております。過去3期のROEは、当社の株主資本コスト（6～7%）と同等および上回っている状況にあります。

引き続き以下の具体的な取り組みを継続することで、資本コストを意識した経営を推進し、企業価値の向上を実現させてまいります。

2. 具体的な取り組み

(1) 資本政策について

2022-2025年度の資本政策として、「①ROE10% ②配当性向50%」を目指しております。当社の自己資本比率は90%前後で推移しておりますが、資本効率の改善を進めてまいります。また、当社は政策保有株を保持しておりましたが、そのほとんどを処分しており、貸借対照表上では7億円程度(2023年3月時点)です。

(2) 株主還元について

当社の配当政策の基本的な考え方として、経営の基本方針に基づいて経営基盤を強化し、成長路線の確立を図るとともに、財務体質をより一層充実させ、安心されるまた期待される企業を目指しております。高い営業利益率および高い配当性向を継続して維持することを基本とし、業績および経営環境等を総合的に勘案して実施していくことが肝要と考えております。